

足立区でただ一人の

平和と民主主義をともにつくる会・東京

無所属・市民派

足立区議会議員

土屋のりこ 通信

発行・平和と民主主義をともにつくる会・東京

〒120-0024 東京都足立区千住関屋町 8-8 2階

Tel 03-5284-9540 Fax 03-5284-9545 tomonitsukurukai.tokyo@gmail.com



パートナーシップ制度導入へ！ 子ども食堂・パントリー補助創設へ！

皆さんと共に区へ求めたことが、実現できました

自民党区議による差別発言に NO セクシャルマイノリティ政策を 前に進めました！



フードパントリー活動に根差して要望 来年度からの区独自の補助を 勝ち取りました！



12月議会での代表質問

持続可能な区政へ転換を

全ての人自己実現できるあだちへ

行き過ぎたグローバル資本主義を止め、自然との調和、公共サービス、福祉、エッセンシャルワーカーの安全などを大切にする区政への転換、また個人の違いを認め合い、多様性を尊重する施策等を求めました。

昨年9月、セクシャルマイノリティ(性的少数者)を差別する発言が自民党区議によってなされ、ニュースでも取りざたされました。看過できないと当事者と共に抗議の声をあげるとともに、区へ「性の多様性についての啓発・理解促進を、パートナーシップ・ファミリーシップ制度を作って欲しい」と求めました。

当事者団体と区の懇談が実現し、12月からは「LGBT 相談窓口」が設置され、来年度からはパートナーシップ制度が導入されるなど、当事者の声で政策を大きく前進させることができました。画期的な変化で、とても嬉しく思います。

昨年2月から立ち上げた「千住フードパントリー」、今では月70名ほどご利用いただくまでになりました。

コロナのような危機が起こった時に何が必要か？「強いセーフティネットのある街づくり」だと思います。「食の支援策を強化すべき、区民の取り組みを行政が支えて欲しい」と代表質問等を通して求め、会派の予算要望にも盛り込んできました。早速来年度から、足立区独自の子ども食堂・フードパントリー補助事業が実現することとなりました！（詳細が明らかになりましたら、またご報告致します）

皆さまの声でつくる あだち を目指しています

ぜひ区政へのご意見や、お困りごとなどお聞かせください。

「市民派」だからこそ、おひとりおひとりの声を拾うことができます。

「新型コロナ緊急何でも相談」
お受けしています！

tomonitsukurukai.tokyo@gmail.com



オピニオン 新型コロナ危機から、命と生活をまもる

緊急事態宣言が再度だされ、区内でも感染者数の増加が止まりません。「医療崩壊」が指摘されますが、根幹にあるのは、公的医療の貧弱さ、社会保障・セーフティネットのほころび、大企業救済を優先し市民の暮らし・命を顧みない政府の無策です。

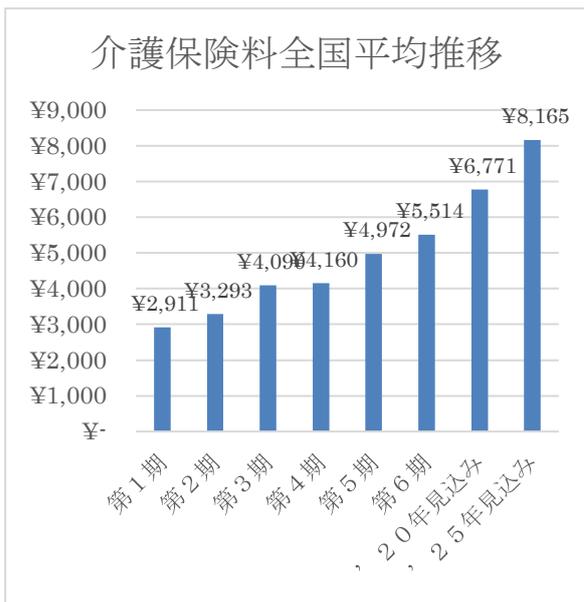
感染拡大を止めるには、PCR 検査を拡充し、症状が出た場合だけでなく無症状感染についても把握し、感染しないよう対策することが必要です。国に対して、自治体に対して、検査拡大を求めています。

また、緊急事態宣言下で休業・廃業を余儀なくされ、減収や収入を失う人も増えています。菅政権は新年度予算案を示しましたが、軍事費5.3兆円は7年連続過去最高額としておきながら、コロナ対策の給付策などは3月末で打ち切られてしまう案となっています。早期に予算案を組み替え、補償や手厚い給付策へ予算を振り向けるべきです。

区政だけでなく、国に対して声をぶつけ、命と生活をまもる政策を求めています。

12月8日、足立区に申し入れ

介護保険料値上げ反対&PCR 検査拡充を申し入れました。



会から区へ申し入れを行い、高齢福祉課長、介護保険課長等に対応いただきました。「介護保険料は高すぎる」「わずかな年金からも有無を言わさず天引きはひどい」「区の単独事業として月1000~2000円の『保険料負担軽減給付金』の制度化を」「介護施設の感染拡大を抑えるため定期的なPCR検査を」など、求めました。

来年度からの事業計画案では、介護保険料の基準月額が7070~7270円になると見込まれています。区は「制度発足時点から考えると介護サービスや要介護認定者数の伸びが想定を超えるものだった。制度運用のためには保険料引き上げは避けられない」と、言い逃れに終始しました。

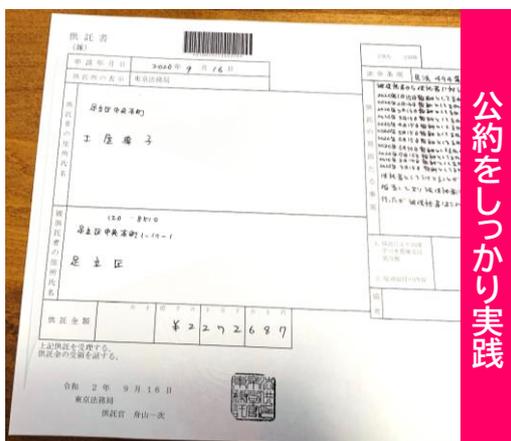
「コロナ感染発生時の介護崩壊を防ぐため業態別の対応策を」「クラスター発生を抑えるため職員の定期的なPCR検査実施を」と求め、「(介護事業所は)来年4月までに1回社会的検査が無料でできる。利用を」、「保健所が『濃厚接触者がおらずPCR検査不要』と判断しても、施設側が『不安があるので、行政検査を』と希望すれば、幅広く実施する」と回答を受けました。

1月19日、臨時議会 開催

介護等施設への支援策、ワクチン接種の補正予算を可決しました。

- ◆介護事業所の職員が感染した場合に他の事業所から応援職員を派遣する場合の補助制度
- ◆在宅高齢者・障がい者を介護する家族が感染した場合に、医療機関で保護する事業費を増額
- ◆区民の50%がワクチンを接種できるよう、新型コロナワクチン接種事業

順次、接種が始まります。ワクチン等について不明なことなどありましたら、お問い合わせください。



高すぎる 1000 万円議員報酬は半分に

* 議員報酬(月額61万5千円、年額1090万円)は、

半分受け取り、残りを法務局に供託しています。

供託総額はすでに、1989万円に！

* 政務活動費(月額16万円)は受け取らず、

総額1088万円もの税金の節約を実現！